



鹿行教育事務所だより 第9号

令和7年12月9日(火)



QRコードから鹿行教育事務所のホームページが見られます

電話 0291-33-6138

E-mail rokyo@pref.ibaraki.lg.jp



冬季休業事故防止

『優しい笑顔』があふれる、『あたたかい』年末年始にしましょう！

※人間関係のトラブル、欠席の増加、自殺等の問題行動につながる危険のあるサインや小さな変化を見逃さないような児童生徒への対応

〔特に、18歳以下における自殺が長期休業明けにかけて急増する傾向にあることに留意する。〕

- ・組織体制の整備と児童生徒の見守りを強化（電話連絡や家庭訪問等による適切な状況把握等）
- ・相談できる具体的な窓口や連絡方法の再周知（「子どもホットライン」「いばらき子ども SNS 相談」「校内オンライン相談窓口」等）
- ・警察や児童相談所等の関係機関との連携強化

※携帯電話・スマートフォン等の使用及びインターネットの適切な利用の留意点

- ・「闇バイト」には絶対に関与しない！
- ・SNS等を利用して知り合った人には、絶対に会いに行かない！
- ・個人情報や個人に対する誹謗中傷をメールで送信・転送しない！



【茨城県警察作成資料】

令和7年度茨城県優秀教職員

令和7年度茨城県優秀教職員として、鹿行管内から3名の先生方（延方小学校 渡辺杏二教諭、神栖第二中学校 宮内ゆか教諭、中野西小学校 小島香里養護教諭）が表彰されました。3名のうち渡辺杏二教諭は、長年にわたる ICT の効果的な活用及び生成 AI の導入による先進的な授業づくり等が認められ、TOT（ティーチャー・オブ・ティーチャーズ）として11月25日に県庁において柳橋常喜県教育長より賞状が授与されました。

宮内ゆか教諭は、新しい教育理論や指導法を積極的に取り入れた国語科の授業づくり、小島養護教諭は、自らの健康に気付き、自己管理できる児童の育成に向けた保健教育の実践等が認められ今回の受賞となりました。

12月1日に鉾田合同庁舎で行われた表彰式において、宮内ゆか教諭からは、「他者と共に生きるためのコミュニケーション能力を育む国語科授業づくりに努めていきたい。」、小島香里養護教諭からは、「自己認識力の育成に引き続き取り組みたい。」という言葉がありました。素晴らしい実践等をぜひ管内のみならず県全体に広めてほしいと思います。

【写真上：柳橋県教育長と渡辺教諭、下：宮内教諭・小島養護教諭（前列中央）】



学びのイノベーション推進プロジェクト事業

11月19日(水)に柳川小学校で5年生の授業を公開しました。児童が探究的な学びを推進する中で、単元や内容のまとまりを意識した授業デザイン、対話、記述、動作表現といったアウトプット、ICTの効果的な活用等を含めた授業の在り方について取り組みました。



【実験方法について協議している様子】

- ・問いを見いだすことは難しいですが、子どもの気付きと教師のコミュニケーションで問いを作るのがよいと思いました。理科だけでなく他教科にも活かせる学びを得ることができました。
- ・探究的な学びと個別最適な学びを目指した授業としてとても参考になりました。

【参加された先生方の振り返り】

10月27日(月)に大野中学校で3学年の「読むこと」領域における授業を公開しました。文学作品の表現上の特徴と効果を自ら見だし解釈することを目標とし、自ら課題を設定し解決することや、学び方を主体的に選択することで、探究的な学びの実現を目指しました。



【学び方を主体的に選択している様子】

- ・生徒にとって必要感のある言語活動の重要性について改めて気付かされました。毎日の授業で常に「必要感」はあるのかと考えながら授業実践していこうと思います。
- ・「探究的な学び」を進めるに当たって、子どもたちが考えたり、探り合ったりすること、ICT機器の活用の仕方も大変参考になりました。

【参加された先生方の振り返り】

日本語指導対応教員加配校訪問

令和6年末、日本の在留外国人数は、376万8,977人で、過去最高を更新しています。それに伴い、日本語指導が必要な児童生徒も増加傾向にあり、学校現場での対応が課題となっています。

鹿行管内においても日本語指導体制の強化を図るために、4人の日本語指導対応教員が配置されています。その加配措置がされた4校の小学校を訪問してきました。

来日して不安を抱えた児童も担当されている先生方の適切な支援を受けることで、少しずつ日本語を習得し、今では友だちと楽しく学校生活を送っていました。日本語指導の授業に参加している児童と先生方の笑顔でのやり取りが印象的でした。